

2022年 4月度 平日山行「日向山」報告

* 日程：2022年4月20日(水)

* 場所：山梨県 日向山 1,660m

* 参加者：(敬称略) 高橋努、米山英三、野口勝志、加藤満、橋本久子、田中麻志帆、浅田稔、
(CL) 東洋子 (SL) 坂倉理恵

* 行程：道の駅はくしゅう 午前10時 集合

矢立石登山口 10:55 (カラ松林の中を登る) → 山頂三角点 12:30 → 12:35 日向山 13:40 (ピストンで戻る) → 山頂三角点 13:45 → 14:45 矢立石登山口

今回は平日山行なので「平日」の特典を生かした山に行きたい、そう考え CL が思いついたのが南アルプスの日向山である。一番山頂に近い矢立石登山口の手前のゲート付近には、数台の車しか止められず、そこがいっぱいなら、甲斐駒ヶ岳黒戸尾根の登山口と同じ、尾白川溪谷駐車場に止めなければならない。ここに停めると約1時間のロスタイム。なんとか矢立石に駐車できれば幸いだ。

道の駅はくしゅうには、3台の車に3人ずつ乗り合わせ集合した。そこで更に2台に絞り、約20分で矢立石登山口へ。スペースがあり、思惑通り2台とも駐車することができた。「平日」はありがたい。

登山道は、最初から最後まで歩きやすく、枯れ落ちたカラマツの葉がクッションとなり、足に優しい。

すっと伸びたその木がまっすぐで気持ちがいいね、などと話しながら山頂をめざす。時折、聞こえる鳥の声に耳を傾け、あれは何の鳥だとその姿を想像しながらの緩やかな山歩きが清々しい。

囲まれた一角にある三角点を通過し、雁ヶ原と呼ばれる花崗岩が風化してできたザレ場に到着。

ここが楽しみにしていた「天空のビーチ」だ。

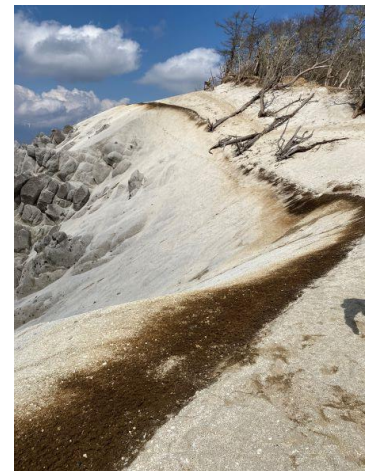
どこまでが海岸に似ているのだろうと半信半疑でいたが、そこは目を

疑うほどのまさにビーチだった。真っ白い砂の背後には、海ではなく山々が見える不思議。覗き込んだらアリ地獄のように吸い込まれそうな谷底。すべてが想像以上に素晴らしい風景だった。

みんなでビーチにシートを敷き、ランチタイム。期待していた甲斐駒ヶ岳は、残念ながらわずかに山頂が少し見える程度だったが、八ヶ岳連峰を見ながら、贅沢な時間を過ごした。

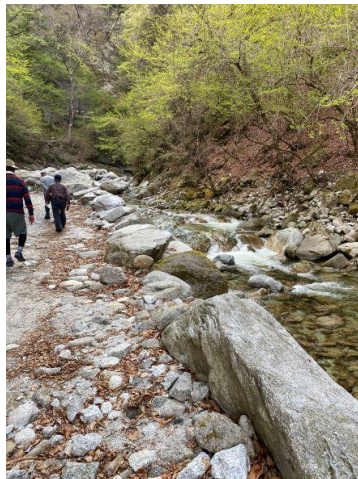
集合写真を撮り、行きに通過した三角点に寄って下山。

せっかくなので、甲斐駒ヶ岳神社と尾白川溪谷に寄っていきましょうとの CL の提案で、車を駐車場に移動。神社にお参りし、橋を渡って千ヶ淵と



いう滝まで尾白川沿いを散策した。ミヤマカタバミの群生やネコノメソウが可愛かった。そういえば日向山の登山道にはほとんど山野草が咲いていなかったのは地質のせいなのだろうか。

道の駅はくしゅうに戻り、お土産を買ったり、日本名水百選の尾白川の水を汲んだりして、3台の車はそれぞれの帰路についた。高速道路の渋滞もなく、南アルプスはあっという間に遠ざかっていった。



ご一緒してくださった皆さま、ありがとうございました。

(坂倉)